

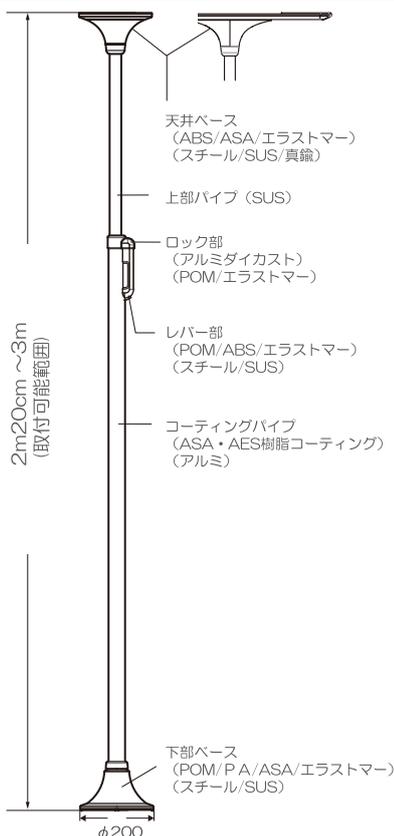
公的介護保険
レンタル製品

ベストポジションバーシリーズ

ベストポジション e ロングタイプ

BEST POSITION BAR BPE-100-20・21

施工説明書



目次

安全上の注意、取扱上の注意	1
梱包内容、仕様・寸法	2
設置できない天井	3
設置できない床	4
設置前の注意、設置前の準備	5
天井ベースの組立、下部ベースの組立	6
設置手順	7
横手すりの取り付け方	11
横手すりの組立、ブラケットの組立	12
取り外し方、天井ベースが固着した場合	13
Q&A、ロック点検方法	14
廃棄方法	14

施工業者の方へ

この度は、当社製品をご利用くださり、誠にありがとうございます。
「設置前の注意、準備」をよくお読みになり、設置手順通りに正しく設置してください。
設置後、ご利用者に「安全上の注意」、「使用上の警告・注意」及び「日常点検」をよく説明した上、取扱説明書をご利用者にお渡しください。この施工説明書は、施工業者/取扱店で大切に保管・管理してください。

★「ベストポジションバー」を安全に設置・ご使用していただくために！

ベストポジションバーとは、ベッドや布団などの寝具からの「起き上がり動作」また、座った状態からの「立ち上がり動作」や「移動動作」及び「移乗動作」などを補助する自立支援を目的とした福祉用具です。
天井と床の間を突っ張り、空間に取付けできる利点がありますが、ネジやクギで固定しないため、誤った取付けや使用をするとケガをする恐れがあります。取付けの際は、取付け状況や利用者の状態を十分ご確認の上取付けてください。

安全上の注意

安全のため必ずお守りください。

- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、事故や家財の損害を未然に防止するために、次のマークで表示しています。
- 各マークの意味と内容を十分ご理解されたうえでご使用していただきますようお願いいたします。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性や物質損害が想定される」内容を示しています。

- お守りしていただく内容の種類を、次の絵表示で区分して説明しています。



禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



実行

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

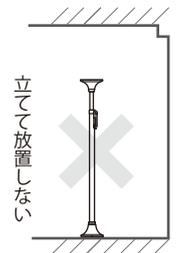
取扱上の注意

必ずお守りください。



注意

製品を落下・転倒させると重要部品が損傷して設置できなかつたり、外れてけがをする恐れがあります。
製品の取り扱いについては十分に注意してください。



製品を立てたまま放置しないでください。
転倒し、ケガをしたり製品や周辺を損傷する恐れがあります。



禁止

中古製品を転売しないでください。ビスやクギ等で固定しないため、不具合があった場合は外れて重大事故につながります。

一般販売はしないでください。ビスやクギ等で固定しないため、間違った設置や点検をしないと外れて重大事故につながります。

上部パイプは錆びにくいステンレス材を使用していますが、水分（雨等）や埃等が長時間付着した場合は錆びる（もらいさび）恐れがあります。
水分が掛かったり、埃が付着した場合は拭き取り乾かしてください。



必ず実行

設置・移動、撤去は、必ず納入業者の方が行ってください。
手順通りに設置しないと外れて重大事故につながります。

持ち運びの際は、納入業者の方が周囲に十分ご注意ください。
長さのある製品なので周辺環境を損傷する恐れがあります。

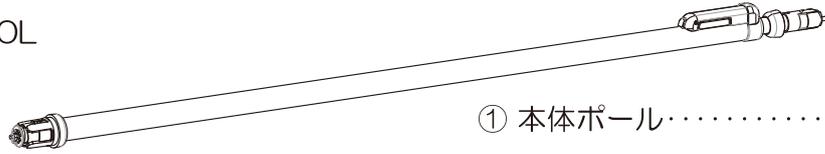
梱包内容

必ず確認してください。

梱包内容品に不足がないか、また、破損や変形等していないか必ず確認してください。万が一、部品の不足や破損・変形があった場合は、納入業者にご連絡ください。

箱
(2/2)

BPE-100L

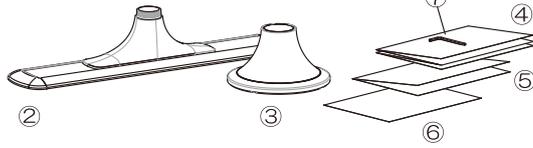


① 本体ポール…………… 1本

ベースポジeは2個口に分けて梱包されています。

箱
(1/2)

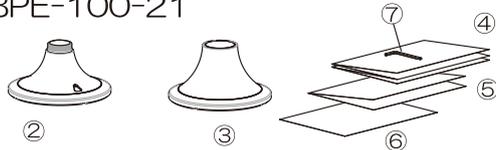
BPE-100-20



② 天井Tベース……………どちらか 1ヶ
天井丸ベース

③ 下部ベース・補助ベース…… 1ヶ
④ 施工説明書…………… 1冊
⑤ 取扱説明書…………… 1冊
⑥ 保証書…………… 1枚
⑦ 六角レンチ5mm…………… 1本

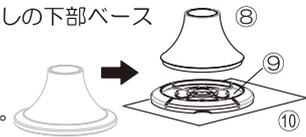
BPE-100-21



BPE-100-30(T型)・31(丸型)

耐水仕様には③下部ベース・補助ベースの代わりに

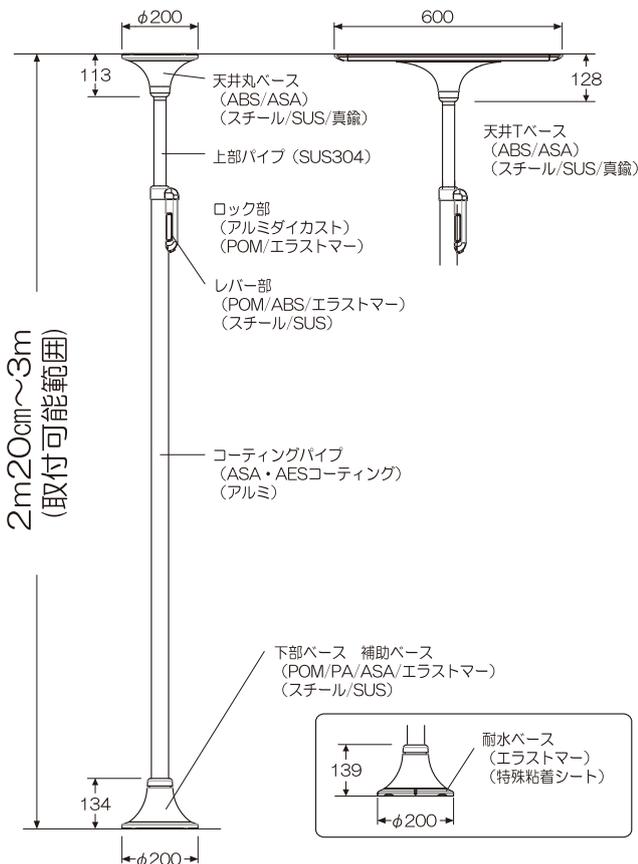
⑧補助ベース無しの下部ベース
⑨耐水ベース
⑩耐水説明書
が入っています。



仕様・寸法

安全のため必ずお守りください。

組立完成品



ベースポジ-e 基本セット

BPE-100-20 (T型ベース仕様) 定価¥51,000 (税抜)
TAIS 00254-000353 JAN 4944916004737
商品サイズ H 2200mm × W 600mm × D 200mm
商品重量 5.3kg
梱包重量 4.2kg (2185mm×92mm×92mm) 2.3kg (615mm×135mm×240mm)

BPE-100-21 (丸型ベース仕様) 定価¥50,000 (税抜)
TAIS 00254-000354 JAN 4944916004744
商品サイズ H 2195mm × W 200mm × D 200mm
商品重量 4.7kg
梱包重量 4.2kg (2185mm×92mm×92mm) 1.5kg (350mm×135mm×215mm)

BPE-100-30耐水 (T型ベース仕様) 定価¥56,000 (税抜)
TAIS 00254-000355 JAN 4944916004751
商品サイズ H 2205mm × W 600mm × D 200mm
商品重量 5.4kg
梱包重量 4.2kg (2185mm×92mm×92mm) 2.4kg (615mm×135mm×240mm)

BPE-100-31耐水 (丸型ベース仕様) 定価¥55,000 (税抜)
TAIS 00254-000356 JAN 4944916004768
商品サイズ H 2200mm × W 200mm × D 200mm
商品重量 4.8kg
梱包重量 4.2kg (2185mm×92mm×92mm) 1.6kg (350mm×135mm×215mm)

取付可能範囲 2m20cm~3m

警告



必ず実行

天井設置面の状態を確認してください！

天井の経年劣化や生活環境により、滑り止めが天井へ固着したり、浮き上り等が生じ、破損の原因になります。また、撤去時は裏表紙の「取り外し時の注意」をよくお読みになってから作業を行ってください。

砂地天井

砂地仕上げ等の表面が崩れやすい天井には設置しないでください。
本体がズれたり、外れて転倒し、重大事故につながります。

傾斜天井

傾斜のある天井には設置しないでください。
本体がズれたり、外れて転倒し、重大事故につながります。

ひび割れのある天井

天井（天井ボード等）にひびや傷がある場合は設置しないでください。
本体がズれたり、外れて転倒し、重大事故につながります。

簡易補強の天井

天井ベースと天井の間に、板等を挟む補強は行わないで下さい。
補強板等がズレ、外れて転倒し、重大事故につながります。

経年劣化した天井（劣化した石膏ボード等）

天井強度が低下していたり、壁紙やクロスが劣化していたり、湿気、油脂、ヤニ等で粘着性を帯びている可能性があります。
滑り止めが固着し、天井表面を剥がしたり天井を破損し、本体が外れて転倒し、重大事故につながります。

塗料や漆等の接着成分を含む塗装がされた天井

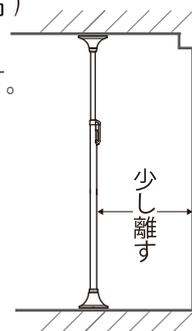
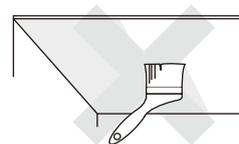
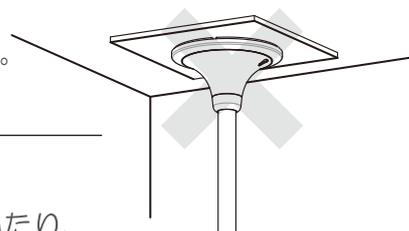
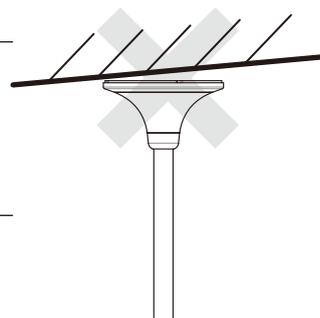
リフォームを含む塗装を施した天井には設置しないでください。
滑り止めが固着し、天井表面に粉が付いたり、天井表面を剥がす恐れがあります。

天井の端及び角（設置時に浮きが見られる場合・設置後浮きが見られる場合）

天井の端や角は強度が弱い場合があるので、設置には十分注意してください。
梁（はり）のある場所や少し離して設置しますと強度が強くなる場合があります。
天井が浮き上がったり破損し、本体が外れて転倒し、重大事故につながります。

強度の弱い天井

設置前に必ず天井強度を確認してください。
天井を破損したり、本体がズれたり、外れて転倒し、重大事故につながります。



禁止



必ず実行

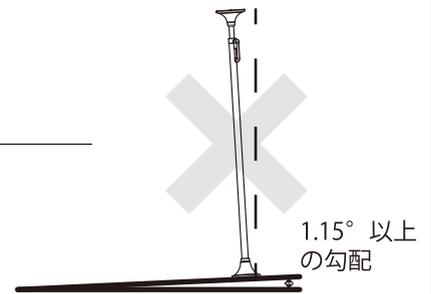
警告

簡易補強の床（たわむ床等）

下部ベースと床の間に補強板等を挟まないでください。
補強板等がズレ、外れて転倒し、重大事故につながります。

傾斜のある床（製品を垂直に立てられない床）

スロープ等傾斜がある床には設置しないでください。
本体がズレたり、外れて転倒し、重大事故につながります。



崩れやすい床

表面素材が崩れやすい、素材が劣化し破損しやすくなっている場所には設置しないでください。

本体がズレたり、外れて転倒し、重大事故につながります。



水が掛かる場所（室内用）

下部ベースに水分が掛かる場所には設置しないでください。

滑り止めの機能が低下し、本体がズレたり、外れて転倒し、重大事故につながります。

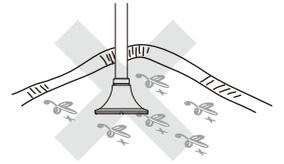


禁止

マット・ラグを敷いた床（ズレを起こす敷物）

マット・ラグ等の固定していない絨毯や毛足の長い絨毯には設置しないでください。

本体がズレたり、外れて転倒し、重大事故につながります。



経年劣化のある床

経年劣化により床全体や畳等の強度が低下している場所には設置しないでください。

本体がズレたり、外れて転倒し、重大事故につながります。

土間の床

土、砂、砂利のある場所には設置しないでください。

本体がズレたり、外れて転倒し、重大事故につながります。

滑り易い床

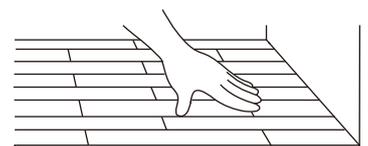
ワックスの効いたフローリング等滑り易い床には設置しないでください。

ベースの滑り止め効果が低下し、本体がズレたり、外れて転倒し、重大事故につながります。

強度の弱い（劣化した）床

設置前に必ず床を手や足で押さえたワミがないことを確認してください。

本体がズレたり、外れて転倒し、重大事故につながります。



必ず実行

設置前の注意

必ず確認してください。



警告

天井・床の強度確認

必ず天井と床の強度を確認してください。
梁（はり）の無い天井やべこべこする天井、強度の弱い床などに設置しますと、天井や床を破損する恐れがあります。

天井・床が劣化していないか確認

経年劣化により天井や床の強度が低下していたり、壁紙やクロスが劣化していたり、湿気、油脂、ヤニ等で粘着性を帯びている可能性があり、天井や床を汚染したり破損する恐れがあります。

上部、下部滑り止めの確認

傷や摩耗が激しいものは早めに交換してください。滑り止めは消耗品です。
滑り止めが劣化していると本体がズレたり、外れて転倒し、重大事故につながる恐れがあります。

ベッド周りの場合は固定確認

キャスター付きのベッドは必ずキャスターをロックする。また、折りたたみ式ベッドは必ず折りたたみ機構をロックする。
ベッドが動き、重大事故につながる恐れがあります。

ロック締付強度の確認

設置する前に必ずロック締付強度を確認してください。→ 7ページ手順①参照
本体がズレたり、外れて転倒し、重大事故につながる恐れがあります。

設置後の確認

設置が終わりましたら、必ず垂直に立っていること、並びに内パイプの上部と下部ベースに赤ラインが見えていないことを確認してください。
本体がズレたり、外れて転倒し、重大事故につながる恐れがあります。



必ず実行

設置前の準備

必ず準備してください。



警告

垂直器

垂直に設置するために必要です。

5mmレンチ

ロックレバーの解除やオプション品の取付けに必要です。

ウエス

天井や床の清掃に必要です。

組立

上部、下部ベースがセットされていないときは組立ててください。



必ず実行

天井ベースの組立

手順通りに組み立ててください。

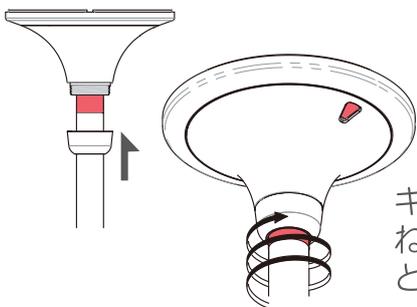
丸型ベースの組立て

丸型天井ベース

天井ベースを本体上部に差し込みます。



バネ止めが見えなくなるまで差し込み、ベースが回転しないか確認します。

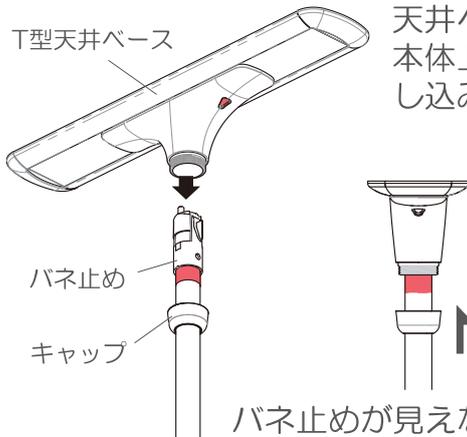


キャップをベースにねじ込み、しっかりと固定します。

T型ベースの組立て

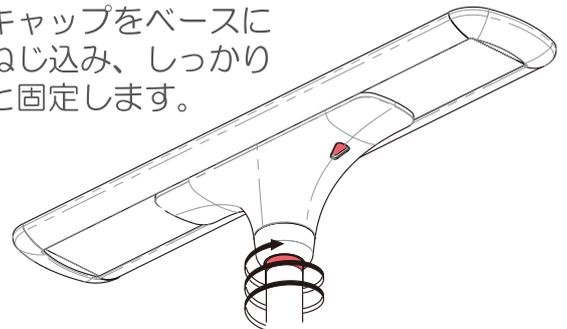
T型天井ベース

天井ベースを本体上部に差し込みます。



バネ止めが見えなくなるまで差し込み、ベースが回転しないか確認します。

キャップをベースにねじ込み、しっかりと固定します。

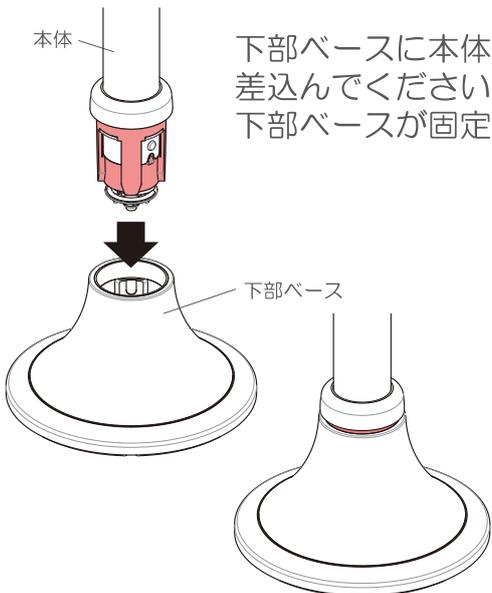


下部ベースの組立

手順通りに組み立ててください。

本体

下部ベースに本体を垂直に差し込んでください。本体と下部ベースが固定されます。



補助ベースの付け外し

取付け

- 下部ベースの凸部を溝に合わせ、ノブネジを右に回して固定します。

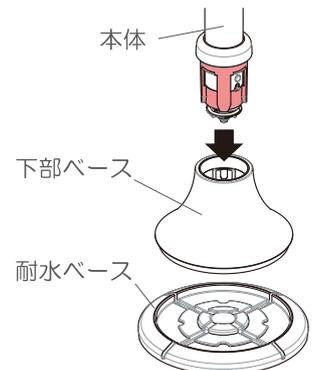
取外し

- ノブネジを左に回すと本体から外れます。

※ いったん差込むと抜けなくなります。

耐水仕様

耐水用ベースも同様に下部ベースにしっかりと差し込んでください。



※ 耐水ベースは本体とじかに固定しません。

警告

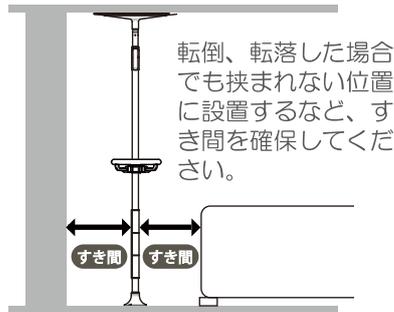
安全のため必ず手順に従って設置してください！
手順通りに設置しないと、外れて転倒し、重大事故につながります。

身体が挟まらないようにすき間を空けて設置してください！
身体の一部が挟まり重大事故につながります。



必ず実行

製品とベッドや壁、家具、
周辺機器との間に身体が挟
まらないようにすき間を空
けて設置してください。



サイドレールや周辺物とのすき間も確保してください。

手順 1 設置前の確認

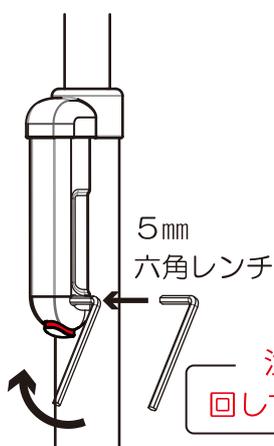


必ず実行

- ★天井と床の高さを確認してください。
設置可能範囲は 2 m 20 cm ~ 3 m です。
- ★本体を設置する天井と床のほこり等を除去してください。
- ★ロック締付強度を確認してください。

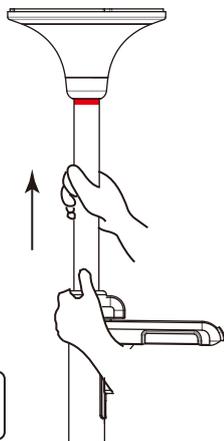
ロック締付強度の確認方法

①固定ノブの解除。



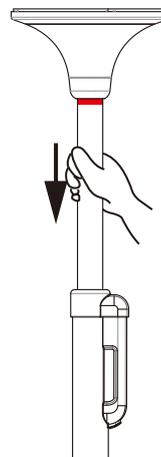
5mmレンチをカバーの穴に差し込み回します。赤ラインが見えます。

②上部パイプの固定。



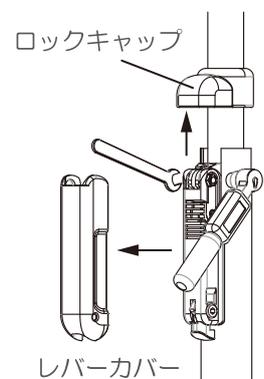
ロックレバーを直角に開き、上部パイプを少し伸ばし、ロックレバーを閉じます。

③締付強度の確認



上部パイプにぶら下がるようにして力を入れ、固定されていることを確認してください。

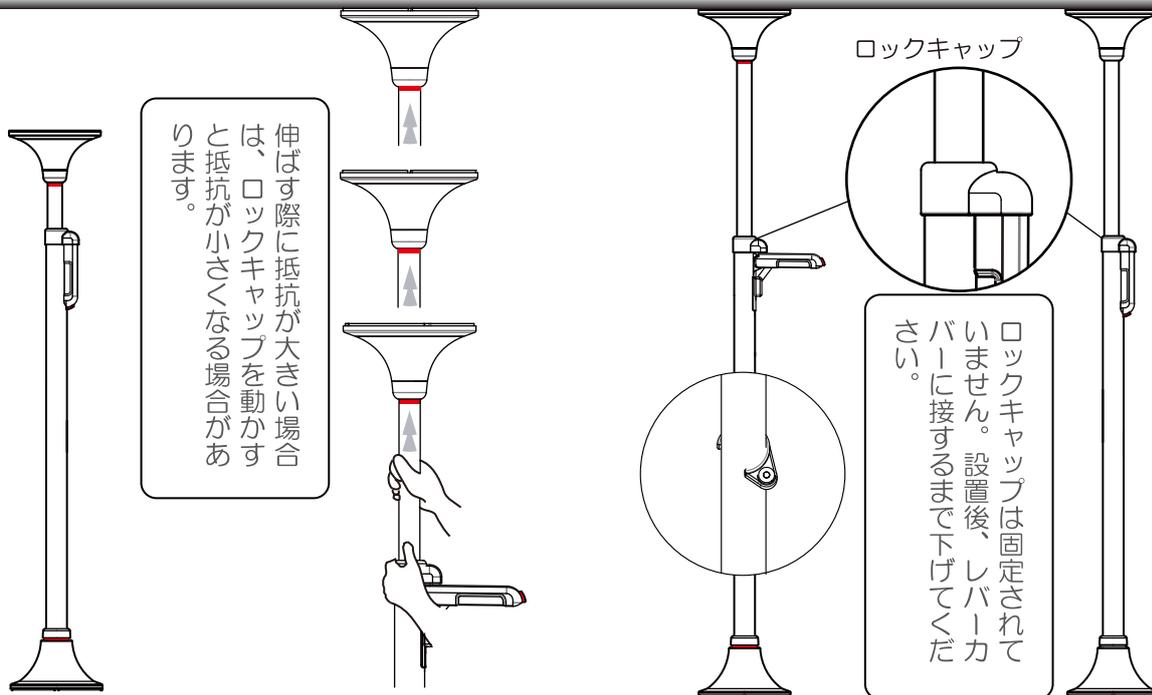
④締付強度調整



上部パイプが滑る場合は 14 ページ「ロック点検方法」を参照し、調整してください。

手順 2 本体を垂直に立てます。

①設置する場所に置く。 ②パイプを伸ばす。 ③垂直にする。 ④上部パイプを固定する。



ご利用者の必要な場所に立て、垂直器を取付けます。

手で本体を支えながら上部パイプを天井に当たるまで伸ばします。

垂直器で垂直を確認しながらロックレバーを閉じます。

垂直を確認しロックレバーを閉じ、赤ラインを消します。

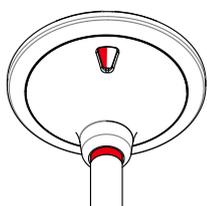
手順 3 赤・緑ラインの確認



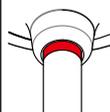
必ず実行

パイプ上部に赤ライン、警告窓に緑ラインが見える場合は、下記要領で再設置をお願いいたします。必ず赤ライン、緑ラインが見えないことを確認してください。

パイプ上部に赤ラインが見える

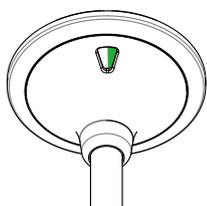


💡 ポイント



- 天井への押し圧強度が不足しています。再設置が必要です。
- 天井に上部ベースを少し強めに当てロックを降ろしてください。

警告窓に緑ラインが見える



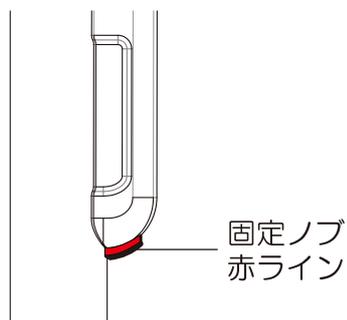
💡 ポイント



- 天井への押し圧強度が強すぎます。再設置が必要です。
- 天井に上部ベースをより軽く当てロックを降ろしてください。

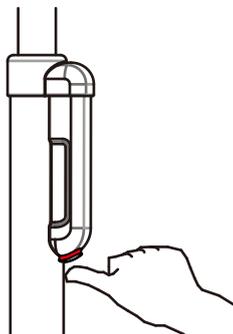
手順 4 ロックレバーの固定

① 固定解除状態



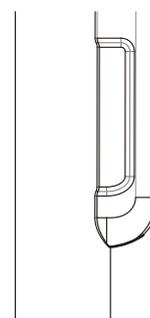
ロックレバー固定ノブが飛び出し、赤ラインが見えている。

② 固定する



親指等を使い押し込む。

③ ロックレバー固定



ロックレバー固定ノブが押し込まれ、赤ラインが消えている。

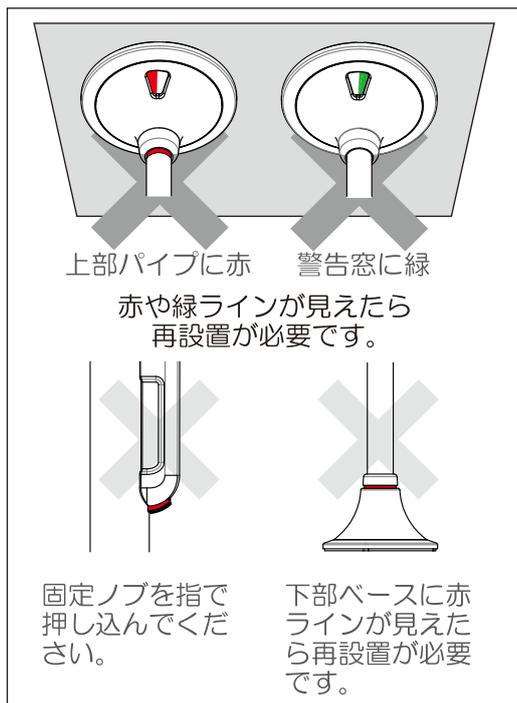
手順 5 本体設置後の確認

設置確認

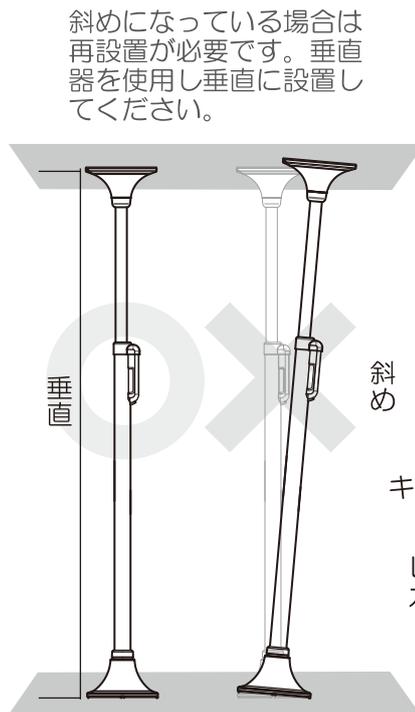
① 赤・緑ラインが見えていませんか？	見える → 再設置
② 垂直に立っていますか？	斜め → 再設置
③ グラツキはありませんか？	ぐらつく → 要点検
④ ロックキャップは下げましたか？	上にある → 下げる

③ 本体がグラついている場合は点検が必要です。異常が無いことを確認してから設置してください。

①



②



④

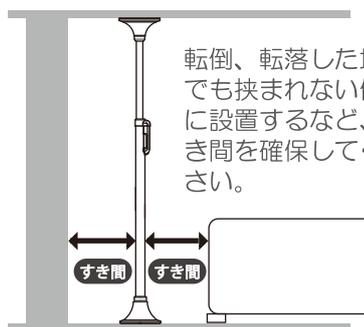
キャップはレバーに接するまで下げる。

手順 6 周辺環境の確認

環境確認	①すき間の幅は適正ですか？	縮めるなら 60 mm以下、広げるなら 235 mm以上
	②角や端に設置していませんか？	天井が浮いていないことを確認
	③水分の掛かる場所に設置していませんか？	耐水ベース使用

①

ベッドや壁面とのすき間を確保してください。



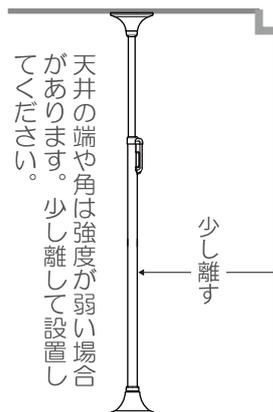
転倒、転落した場合でも挟まれない位置に設置するなど、すき間を確保してください。

サイドレールや周辺物とのすき間も確保してください。



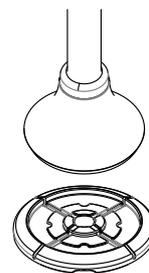
②

天井が浮いていないことを確認してください。



③

耐水専用下部ベースをご使用ください。



耐水ベース別売
品番 BPE-100-90
定価 ¥8,000(税抜)

手順 7 ご利用者・ご家族への説明



必ず実行

全ての設置が完了しましたら、別紙の取扱説明書の内容を必ずご利用者・ご家族の方へ説明してください。また、安全のため利用者の日常点検と業者の定期点検は必ず行ってください。

● 日常点検のお願い（日常点検シール）

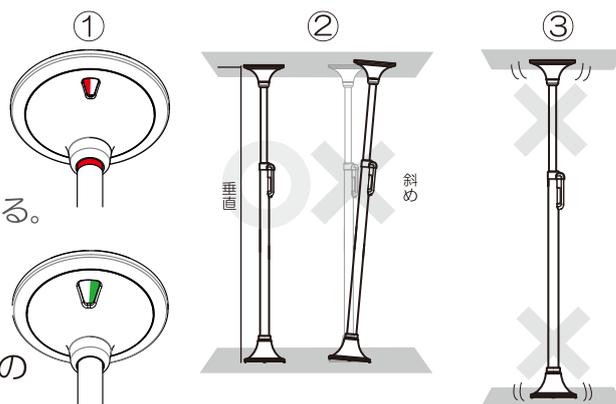
- ①赤ラインが見える。
- ①警告窓に緑ラインが見える。
- ②本体が斜めになっている。
- ③オプション手すりや本体がグラつく。
- ※以上の状態がみられる場合は設置業者に連絡をする。

● ご利用者やご家族の方が取り外しや移動はしないでください。

● 天井や床の状態によっては、撤去時に滑り止めの色が移ったり、クロスを剥がす恐れがあります。

● 経年変化により天井を破損する恐れがあります。

● 天井や床の状態によっては時間経過に伴い上部パイプに赤ラインが見えることがあります。赤ラインが見えたらご使用をお止めになり、設置業者へご連絡ください。

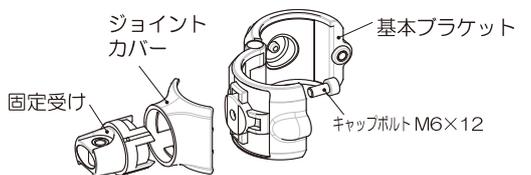


⚠ 警告

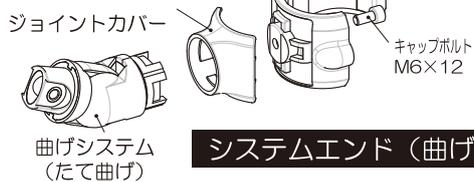
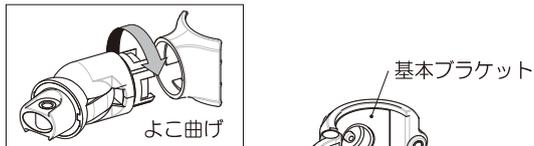
ネジやクギで固定しないため日常点検を行わないで使用をすると転倒してケガをする恐れがあります。

手順 1 横手すり組立手順（固定・曲げ）

基本ブラケットの内側からM6キャップボルトで固定します。



システムエンド（直）

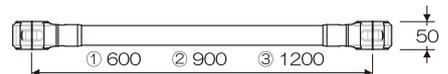


システムエンド（曲げ）

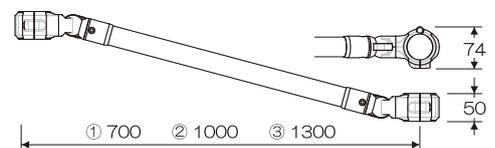
固定ブラケットの方向を合わせ手すりに差し込みM6キャップボルトで固定してください。



システム木手すり固定セット

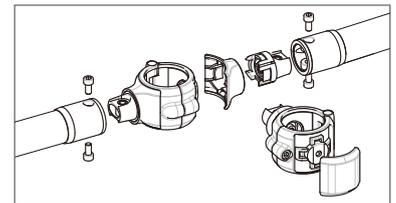


システム木手すり曲げセット

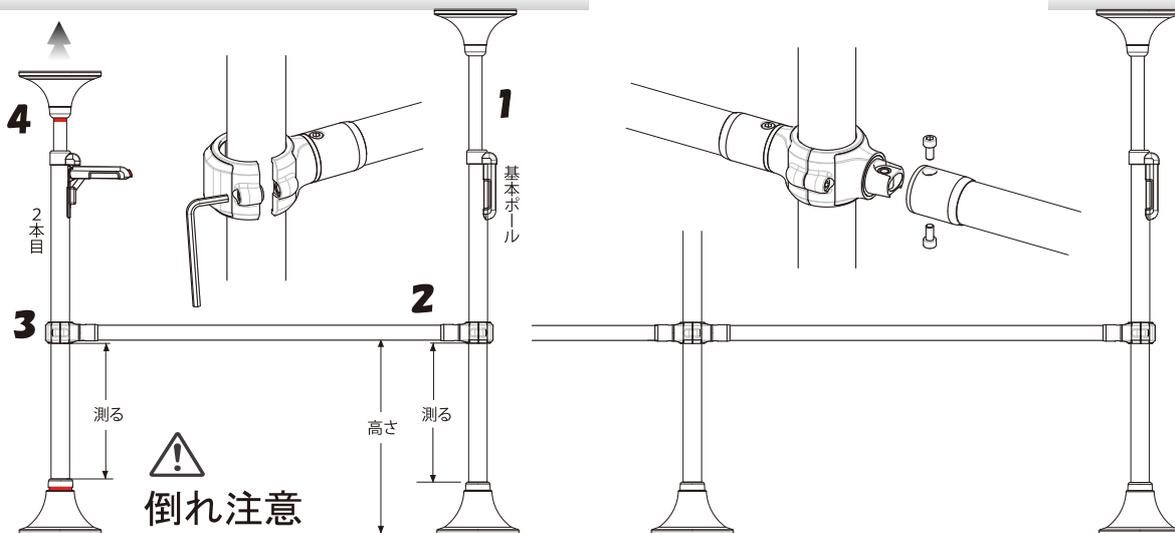


手順 2 横手すり取り付け手順（固定 連結）

- 1 基本になる本体を設置手順に従い設置する。
- 2 手すりの高さを決め横手すりブラケットを取付け軽くとめる。
- 3 2本目の本体を支えながら本体を横手すりブラケットに当て軽くとめる。
- 4 2本目の本体を設置手順に従い設置する。
- 5 横手すりブラケットを水平に固定する。



3本以上の連結設置を行う場合、接続ブラケットをご利用いただくか、お手持ちのブラケット組み替えにより、横手すりを連続し設置してください。



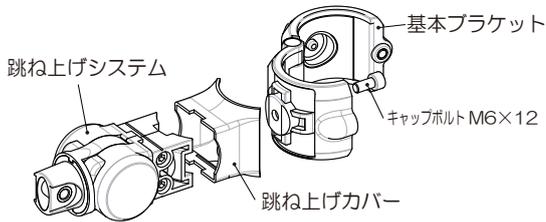
警告

木手すり取り付け最長寸法
システム木手すり1200用

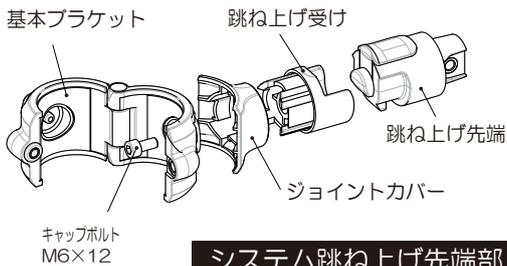


手順 1 横手すり組立手順（跳ね上げ・取り外し）

基本ブラケットの内側からM6キャップボルトで固定します。

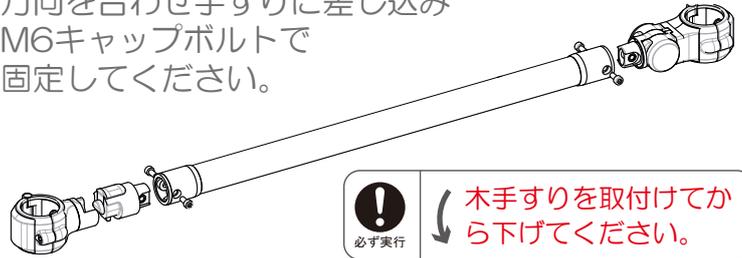


システム跳ね上げ回転部



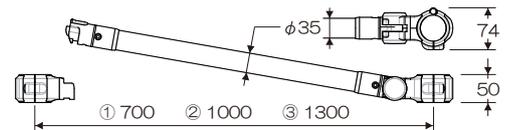
システム跳ね上げ先端部

跳ね上げ先端部、跳ね上げ回転部の方向を合わせ手すりに差し込みM6キャップボルトで固定してください。

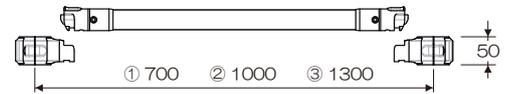


必ず実行 木手すりを取付けてから下げてください。

システム木手すり跳ね上げセット



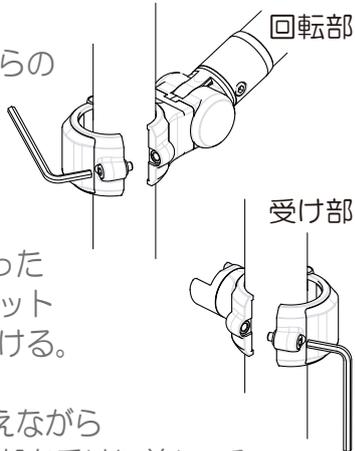
システム木手すり取り外しセット



手順 2 横手すり取り付け手順（跳ね上げ）

- 1 基本になる本体を設置手順に従い設置する。
- 2 手すりの高さを決め跳ね上げ回転部を手すりを上げた状態で取り付ける。

※ ベース上部からの高さを測る

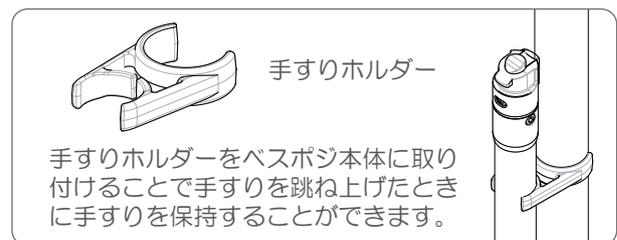
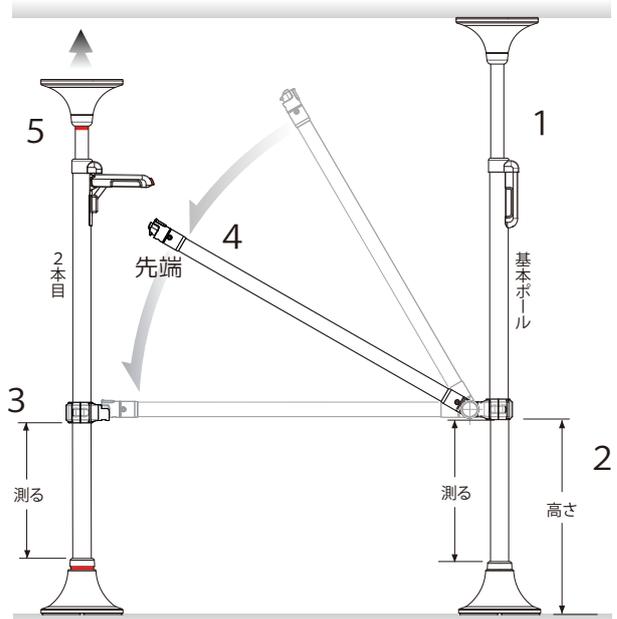


- 3 2本目の本体へ測った高さを受けブラケットを合わせ、取り付ける。

- 4 2本目の本体を支えながら横バーをさげ先端部を受けに差し込み、設置幅を調整する。

⚠ 倒れ注意

- 5 2本目の本体を設置手順に従い設置する。
- 6 開閉状態を確認し、スムーズに作動するように本体と跳ね上げブラケットを微調整する。



手すりホルダーをベースポシ本体に取り付けることで手すりを跳ね上げたときに手すりを保持することができます。



警告

木手すり取付け最長寸法
システム木手すり1200用

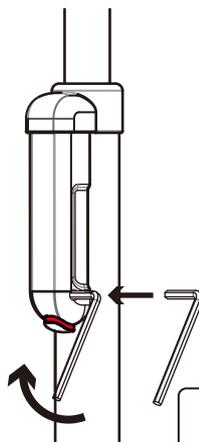


取り外し方

手順

本体の取り外し方

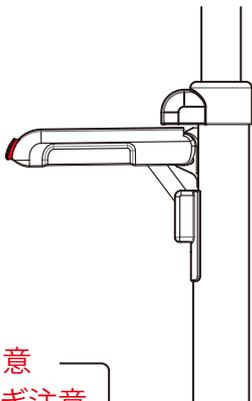
①固定ノブの解除。



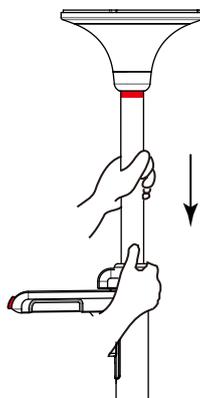
注意
回しすぎ注意

5mmレンチをカバーの穴に差し込み回します。赤ラインが見えます。

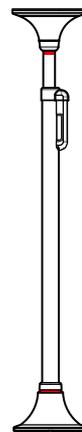
②ロックレバーを直角に開く。



③下部パイプを支え上部パイプを降ろす。



④ロックレバーを降ろし固定。



注意

製品を立てたまま放置しないでください。転倒しケガをしたり周辺環境を損傷する恐れがあります。

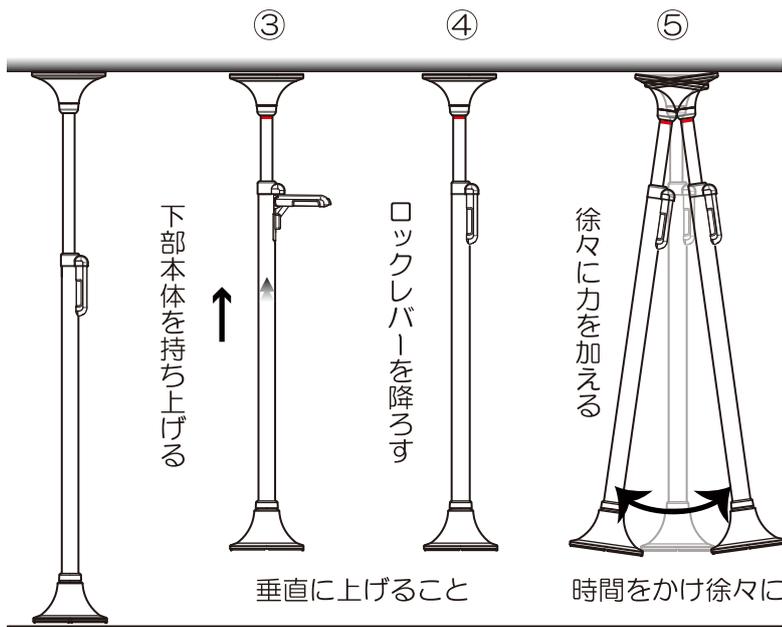
天井ベースが固着した場合

手順

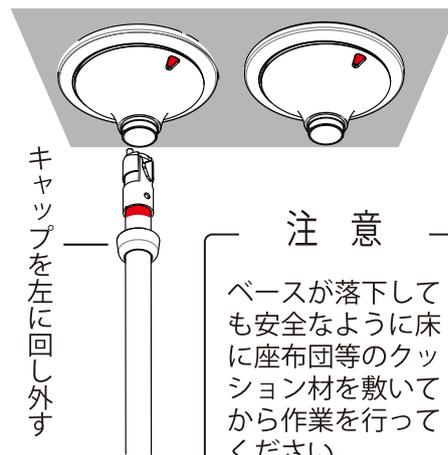
天井ベースの取り外し方

①固定ノブの解除（上図）

②ロックレバーを直角に開く。（上図）



左記方法で外れない場合は仮設置してから行う。



注意

ベースが落下しても安全なように床に座布団等のクッション材を敷いてから作業を行ってください。

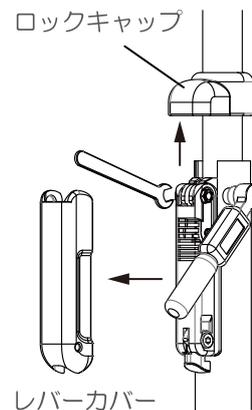
- ①脚立等に乗るベースキャップを外す。
- ②左記①②を行う。
- ③内パイプを押し下げベースから引き抜く。
- ④脚立等に乗るベースを掴み天井の間にヘラ等を少しずつ差し込み徐々に外します。

症 状	確 認	確認できない場合の処 置
補助ベースが水平にならない	内ベースの溝に入っていることを確認	組み立てなおしてください。 ⇒6 ページ参照
ロックレバーが開かない	固定ノブの赤色が見えることを確認	固定ノブを解除してください。 ⇒7 ページ参照
内パイプが上がらない	ロックレバーが直角に開いていることを確認	ロックレバーを直角に開いてください。⇒7 ページ参照
	高さ制限を超えていないことを確認	最長の高さは3mです。 ⇒7 ページ参照
ロックレバーが降りない	高さ制限を超えていないことを確認	最長の高さは3mです。 ⇒7 ページ参照
	ロック締付トルクが合っていることを確認	ロック締付強度を5.0～5.3ニュートンに合わせてください。⇒14 ページ参照
内パイプの固定ができない	ロックレバーを降ろし、内パイプを押し下げると滑らないことを確認	設置しないで点検してください。⇒7、14 ページ参照
本体がグラつく	メンテナンスが済んでいることを確認	設置しないで点検してください。⇒点検マニュアル参照

ロック点検方法

必ず確認してください。

- ①ロックキャップを上にあげる。
- ②レバーカバーを外す。
- ③ロックレバーを降ろす。
- ④10mmスパナ等でボルトの六角部を固定する。
- ⑤トルクレンチでUナット部を緩める。
- ⑥緩めたUナットをトルクレンチで5.0～5.3ニュートンの範囲に締める。
- ⑦内パイプが下がらないことを確認する(7ページ手順①)。
- ⑧レバーカバーを取付け、ロックキャップを下げる。



＝注意＝

ロックレバーは降ろす。

締付トルクのニュートン

5.0～5.3

廃棄方法

有害物質は混入していません。

1	廃棄物の種類	産業廃棄物 その他（金属くず、廃プラスチック、廃木材）
2	特定有害廃棄物混入	なし
3	PRTR 制度対象物質	該当せず
4	有害特性	なし
5	特別注意事項	なし

バスポジー e ロングタイプ 訪問点検票

No. _____

BPE-100-20・21・30・31 《公的介護保険適用商品》

点検日 年 月 日

お名前		ご住所	
品番	ロットNo.	TEL	
設計標準使用期間	年	製造年月	年 月 定期点検 6ヶ月毎に

判定	○：適合しています ×：不適合内容がありました。	×不適合が1つでもある場合は点検整備後、再設置するか製品を交換してください。
----	-----------------------------	--

	チェック項目	判定	コメント		チェック項目	判定	コメント		
設置状況	赤ラインが隠れている			設置場所の状況及び取付確認	天井接地面	浮き・捲れ			
	垂直に設置できている					変形・反り			
	設置商品のぐらつきがない					破損・割れ			
天井プレート	天井プレートの異常	キャップ締り			使用状況	床接地面	腐食・湿気		
		破損・割れ					変形・反り		
		汚れ・カビ					破損・割れ		
ロック部	ロック部の異常	固定ノブ隠れ				(耐水ベースは水分可能)	腐食・水分	カビ・汚れ	
		破損・割れ						敷物・異物	
		汚れ・カビ						すき間	ベッドとの
下部ベース	ベースの異常	赤ライン隠れ					壁との		
		破損・割れ		周辺機器との					
		汚れ・カビ		純正品以外を取付けていない					
パイプ本体	ボールの異常	摩耗・破れ		回転方向の使用はしていない					
		変形・変色		本体下部の使用はしていない					
		汚れ・カビ		衝撃を与えていない					
アームその他	ブラケット	固定の確認		水分をこぼしていない					
		破損・割れ		跳上げ手すりを上げていない					
		手すり部	固定の確認		目的外使用をしていない				
		破損・割れ							

○天井プレート滑止・挟込ベース滑止は消耗品ですので、ハタリや磨耗、汚れなどが確認された場合は、交換をしてください。そのままのご使用は滑りなどの原因になりますのでおやめください。○設置する時は必ず垂直器を使用し垂直に立ててください。

社名（介護保険指定業者）	TEL	点検者	<input type="checkbox"/> 点検異常なし <input type="checkbox"/> 点検・整備再設置 <input type="checkbox"/> 製品交換
--------------	-----	-----	---

※上記のように点検いたしました。本表はご利用者様の控えですので、今回お願いした事項をお守りいただき大切に保管ください。

「個人情報の扱いについて：お客様からお申し出いただいた情報は、今回の製品安全に関するお知らせのために記載内容を活用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。」

※今後も設計標準期間が終了するまで本製品を安心してご使用いただくために定期点検が必要になりますのでご協力ください。

ご使用時に不安な点、不具合を感じましたら上記記入の介護保険指定事業者様へご連絡ください。

製品・施工関係問い合わせ
DIPPER ホクメイ株式会社

〒544-0001 大阪府大阪市生野区新今里2-4-1
TEL.06-6754-0625 Fax.06-6758-6485

東京
TEL.03-5818-0621 Fax.03-5818-0624

名古屋
TEL.052-459-3004 Fax.052-453-1277

福岡
TEL.092-686-9300 Fax.092-686-9260

在庫・発送状況問い合わせ

DIPPER ホクメイ株式会社 受注センター

〒693-0043 島根県出雲市長浜町516-46
TEL.0853-28-0521 Fax.0853-28-2128

■商品の仕様・説明書の内容は、予告なく変更する場合があります。

製造元 **ホクメイ株式会社**

総販売元 **DIPPERホクメイ株式会社**

URL <http://www.dipper-hokumei.co.jp>